

注3

大学番号：国066

[平成30年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

共同設置

山口大学大学院 共同獣医学研究科

鹿児島大学大学院 共同獣医学研究科

注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

山口大学大学院：国立大学法人山口大学

鹿児島大学大学院：国立大学法人鹿児島大学

令和2年5月1日現在

山口大学：作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部企画・評価課

職名・氏名 企画係長 オオシマ ユウスケ 大島 祐輔

電話番号 083-933-5916

（夜間） 083-933-5916

F A X 083-933-5013

e-mail sh041@yamaguchi-u.ac.jp

鹿児島大学：作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 法務・コンプライアンス係長 モリミツ ヤスヒロ 盛満 泰浩

電話番号 099-285-7066

（夜間） 099-285-7066

F A X 099-285-7034

e-mail sshouki@kuas.kagoshima-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発行する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	26
6. 附帯事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	46

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者、大学名

国立大学法人山口大学 : 山口大学大学院
 国立大学法人鹿児島大学 : 鹿児島大学大学院

(2) 調査対象大学等の位置

(山口大学大学院)
 〒753-8511
 山口県山口市吉田1677番地1
 (鹿児島大学大学院)
 〒890-8580
 鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番24号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
山口大学大学院	理事長			該当なし
	学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月)		
	研究科長	(サトウ コウイチ) 佐藤 晃一 (平成30年4月)		
	専攻長等			専攻長等は置いていない
鹿児島大学大学院	理事長			該当なし
	学長	(マエダ ヨシザネ) 前田 芳實 (平成25年4月)	(サノ アキラ) 佐野 輝 (平成31年4月)	平成31年3月31日付けで前田芳實学長が任期満了により退任し、平成31年4月1日付けで佐野輝学長が就任(元)
	研究科長	(ミヤモト アツシ) 宮本 篤 (平成30年4月)	(ミスミ カズヒロ) 三角 一浩 (令和2年4月)	令和2年3月31日付けで宮本篤研究科長が任期満了により退任し、令和2年4月1日付けで三角一浩研究科長が就任(2)
	専攻長等			専攻長等は置いていない

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 令和2年度に報告する内容 → (2)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

大学名	調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
			修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
山口大学 大学院	共同獣医学研究科 獣医学専攻 博士(獣医学)	獣医学関係	4年	6人	0人	24人	基礎となる学部: 共同獣医学部
鹿児島大学 大学院	共同獣医学研究科 獣医学専攻 博士(獣医学)	獣医学関係	4年	6人	0人	24人	基礎となる学部: 共同獣医学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

大学名	対象年度 区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均入 学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
山口大学 大学院	A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	6人 () []	人 () []	6人 () []	人 () []	6人 () []	1.27倍	一倍	令和2年度の春季入学者について、本来ならば留学生5名を含む11名であったが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大とその防止のため、同年度10月入学(予定)に変更したため、6名となった。	
	志願者数	() []	() []	() []	() []	7 []	2 []	8 []	2 []	11 []				() []
	受験者数	() []	() []	() []	() []	7 []	2 []	7 []	2 []	11 []				() []
	合格者数	() []	() []	() []	() []	7 []	2 []	6 []	2 []	11 []				() []
	B 入学者数	() []	() []	() []	() []	7 []	2 []	6 []	2 []	6 []				() []
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	1.50	-	1.33	-	1.00				-
鹿児島大学 大学院	A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	6人 () []	人 () []	6人 () []	人 () []	6人 () []	1.33倍	一倍		
	志願者数	() []	() []	() []	() []	8 []	5 []	7 []	-	10 []				() []
	受験者数	() []	() []	() []	() []	8 []	5 []	7 []	-	10 []				() []
	合格者数	() []	() []	() []	() []	8 []	4 []	7 []	-	7 []				() []
	B 入学者数	() []	() []	() []	() []	7 []	4 []	7 []	-	6 []				() []
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	1.83	-	1.16	-	1.00				-

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

大学名	対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
山口大学 大学院	1年次	-	-	-	-	-	-	-	2	6		令和2年度の春季入学者について、本来ならば留学生5名を含む11名であったが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大とその防止のため、同年度10月入学(予定)に変更したため、6名となった。
	2年次	/	/	-	-	-	2	6	-	-		
	3年次	/	/	/	/	7	-	-	-	-		
	4年次	/	/	/	/	/	/	-	-	-		
	計	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	9 [2] (-)	8 [2] (-)	6 [-] (-)				
鹿児島大学 大学院	1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	6		
	2年次	/	/	-	-	-	4	7	-	-		
	3年次	/	/	/	/	7	-	-	-	-		
	4年次	/	/	/	/	/	/	-	-	-		
	計	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	11 [3] (-)	7 [3] (-)	6 [-] (-)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
				入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
山口大学 大学院	平成28年度	－人	－人	平成28年度	－人	－人	
	平成29年度	－人	－人	平成28年度	－人	－人	
				平成29年度	－人	－人	
	平成30年度	9人	0人	平成28年度	－人	－人	
				平成29年度	－人	－人	
				平成30年度	0人	0人	
	令和元年度	17人	0人	平成28年度	－人	－人	
				平成29年度	－人	－人	
				平成30年度	0人	0人	
				令和元年度	0人	0人	
	令和2年度	23人	0人	平成28年度	－人	－人	
				平成29年度	－人	－人	
				平成30年度	0人	0人	
				令和元年度	0人	0人	
令和2年度				0人	0人		
合 計		0人		0人	0人		
鹿児島大学 大学院	平成28年度	－人	－人	平成28年度	－人	－人	
	平成29年度	－人	－人	平成28年度	－人	－人	
				平成29年度	－人	－人	
	平成30年度	11人	0人	平成28年度	－人	－人	
				平成29年度	－人	－人	
				平成30年度	0人	0人	
	令和元年度	18人	0人	平成28年度	－人	－人	
				平成29年度	－人	－人	
				平成30年度	0人	0人	
				令和元年度	0人	0人	
	令和2年度	24人	0人	平成28年度	－人	－人	
				平成29年度	－人	－人	
				平成30年度	0人	0人	
				令和元年度	0人	0人	
令和2年度				0人	0人		
合 計		0人		0人	0人		

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

<山口大学大学院>

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{17} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

<鹿児島大学大学院>

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{24} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通科目	共同教育科目	基礎獣医学特別講義 (動物細胞機能学特別講義)	山口大学	2			1					
		基礎獣医学特別講義 (発生遺伝学特別講義)	山口大学	2			1					
		基礎獣医学特別講義 (神経生理学特別講義)	山口大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (細胞生化学特別講義)	山口大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (生物機能薬理学特別講義)	山口大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (病原微生物学特別講義)	山口大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (実験病理学特別講義)	山口大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (動物衛生学特別講義)	山口大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (感染免疫学特別講義)	山口大学	2			1					
		応用獣医学特別講義 (病原細菌学特別講義)	山口大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (実験動物学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (低侵襲外科学特別講義)	山口大学	2			1					
		臨床獣医学特別講義 (腫瘍外科学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (獣医内科診断治療学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (小動物臨床免疫学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (寄生虫学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (進化系統寄生虫学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (産業動物獣医学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (繁殖生理管理学特別講義)	山口大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (比較解剖学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (感覚生理学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (比較薬理学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (分子細胞生物学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (生化学特別講義)	鹿児島大学	2			1					
		基礎獣医学特別講義 (実験動物学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (ケノム医学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (細胞薬理毒性学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (衛生微生物学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (原虫病学特別講義)	鹿児島大学	2			1					
		応用獣医学特別講義 (感染症学特別講義)	鹿児島大学	2		1						

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通科目	共同教育科目	基礎獣医学特別講義 (動物細胞機能学特別講義)	山口大学	2			1					
		基礎獣医学特別講義 (発生遺伝学特別講義)	山口大学	2			1					
		基礎獣医学特別講義 (神経生理学特別講義)	山口大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (細胞生化学特別講義)	山口大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (生物機能薬理学特別講義)	山口大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (病原微生物学特別講義)	山口大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (実験病理学特別講義)	山口大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (動物衛生学特別講義)	山口大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (感染免疫学特別講義)	山口大学	2			1					
		応用獣医学特別講義 (病原細菌学特別講義)	山口大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (実験動物学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (低侵襲外科学特別講義)	山口大学	2			1					
		臨床獣医学特別講義 (腫瘍外科学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (獣医内科診断治療学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (小動物臨床免疫学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (寄生虫学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (進化系統寄生虫学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (産業動物獣医学特別講義)	山口大学	2		1						
		臨床獣医学特別講義 (繁殖生理管理学特別講義)	山口大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (比較解剖学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (感覚生理学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (比較薬理学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (分子細胞生物学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (生化学特別講義)	鹿児島大学	2			1					
		基礎獣医学特別講義 (実験動物学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (ケノム医学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		基礎獣医学特別講義 (細胞薬理毒性学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (衛生微生物学特別講義)	鹿児島大学	2		1						
		応用獣医学特別講義 (原虫病学特別講義)	鹿児島大学	2			1					
		応用獣医学特別講義 (感染症学特別講義)	鹿児島大学	2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
コース科目 (研究推進科目)	臨床獣医学特別演習 (進化系統発生学特別演習)	1-2-3 通	山口大学	2			1					
	臨床獣医学特別演習 (産業動物獣医学特別演習)	1-2-3 通	山口大学	2			1	1				
	臨床獣医学特別演習 (繁殖生理管理学特別演習)	1-2-3 通	山口大学	2			1					
	臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2			2		3			
	臨床獣医学特別実験 (腫瘍外科学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2		1	1		1			
	臨床獣医学特別実験 (獣医内科学診断学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2		1	1		1			
	臨床獣医学特別実験 (小動物臨床免疫学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2		1	1		1			
	臨床獣医学特別実験 (寄生虫学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2		1	1		1			
	臨床獣医学特別実験 (進化系統発生学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2			1					
	臨床獣医学特別実験 (産業動物獣医学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2			1	1				
	臨床獣医学特別実験 (繁殖生理管理学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2			1		1			
	臨床獣医学特別演習 (家畜臨床生化学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1					
	臨床獣医学特別演習 (内科診断学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1		1			
	臨床獣医学特別演習 (臨床細胞学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1					
	臨床獣医学特別演習 (大動物内科学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1		1			
	臨床獣医学特別演習 (比較病態解析学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1		1			
	臨床獣医学特別演習 (外科診断学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1	1	1			
	臨床獣医学特別演習 (分子診断学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1					
	臨床獣医学特別演習 (運動器診断学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1	1	1			
	臨床獣医学特別演習 (発生工学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1	2				
	臨床獣医学特別実験 (家畜臨床生化学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1					
	臨床獣医学特別実験 (内科診断学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1		1			
	臨床獣医学特別実験 (臨床細胞学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1					
	臨床獣医学特別実験 (大動物内科学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1		1			
	臨床獣医学特別実験 (比較病態解析学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1		1			
	臨床獣医学特別実験 (外科診断学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1	1	1			
	臨床獣医学特別実験 (分子診断学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1					
	臨床獣医学特別実験 (運動器診断学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1	1	1			
	臨床獣医学特別実験 (発生工学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1	2				
	小計(88科目)	—	—	—	176		28	29	0	18	0	兼1
	合計(139科目)	—	—	—	3	270	28	29	0	18	0	兼2

修了要件及び履修方法

- 修了要件は、共同獣医学研究科の教育課程において、30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び論文の内容や専門分野に関する口述ないし筆記試験に合格することとする。
なお、30単位以上のうち、10単位以上は相手大学の単位とする。
- 履修方法は、共通科目を20単位以上、コース科目(一部共通科目含む。)を10単位以上、それぞれ修得することとし、内訳は以下のとおりとする。
<共通科目…20単位以上>
・共同教育科目 14単位以上(※必修…所属大学6単位、相手大学8単位)
・専門教育科目 3単位
・先端実践科目 3単位 ※ 獣医科学コースのみ必修
・特別専修科目 3単位 ※ 獣医専修コースのみ必修
<コース科目…10単位以上(一部共通科目含む。)>
・研究推進科目(特別演習、特別実験)及び共通科目(特別講義)のうち、主指導教員が開講する特別講義(1科目2単位)、特別演習(1科目2単位)及び特別実験(1科目2単位)、さらに両大学の副指導教員が開講する特別講義(2科目4単位)を必修とする。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
コース科目 (研究推進科目)	臨床獣医学特別演習 (進化系統発生学特別演習)	1-2-3 通	山口大学	2			1					
	臨床獣医学特別演習 (産業動物獣医学特別演習)	1-2-3 通	山口大学	2			1	1				
	臨床獣医学特別演習 (繁殖生理管理学特別演習)	1-2-3 通	山口大学	2			1		1			
	臨床獣医学特別演習 (大動物獣医学特別演習)	1-2-3 通	山口大学	2			1		1			
	臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2			2		1	1		
	臨床獣医学特別実験 (腫瘍外科学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2		1	1		1		1	
	臨床獣医学特別実験 (獣医内科学診断学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2		1	1		1			
	臨床獣医学特別実験 (小動物臨床免疫学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2		1	1		1			
	臨床獣医学特別実験 (寄生虫学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2		1	1		1			
	臨床獣医学特別実験 (進化系統発生学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2			1					
	臨床獣医学特別実験 (産業動物獣医学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2			1	1				
	臨床獣医学特別実験 (繁殖生理管理学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2			1		1			
	臨床獣医学特別演習 (家畜臨床生化学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1					
	臨床獣医学特別演習 (内科診断学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1		1			
	臨床獣医学特別演習 (臨床細胞学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1					
	臨床獣医学特別演習 (大動物内科学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1		1		1	
	臨床獣医学特別演習 (比較病態解析学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1		1		1	
	臨床獣医学特別演習 (外科診断学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1	1	1			
	臨床獣医学特別演習 (分子診断学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1					
	臨床獣医学特別演習 (運動器診断学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1	1	1		1	
	臨床獣医学特別演習 (発生工学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1	2				
	臨床獣医学特別実験 (家畜臨床生化学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1					
	臨床獣医学特別実験 (内科診断学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1		1			
	臨床獣医学特別実験 (臨床細胞学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1					
	臨床獣医学特別実験 (大動物内科学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1		1		1	
	臨床獣医学特別実験 (比較病態解析学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1		1		1	
	臨床獣医学特別実験 (外科診断学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1	1	1			
	臨床獣医学特別実験 (分子診断学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1					
	臨床獣医学特別実験 (運動器診断学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1	1	1		1	
	臨床獣医学特別実験 (発生工学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2			1	2				
	小計(94科目)	—	—	—	188		36	25	0	10	0	兼1
	合計(157科目)	—	—	—	3	306	37	25	0	10	0	兼3

修了要件及び履修方法

- 修了要件は、共同獣医学研究科の教育課程において、30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び論文の内容や専門分野に関する口述ないし筆記試験に合格することとする。
なお、30単位以上のうち、10単位以上は相手大学の単位とする。
- 履修方法は、共通科目を20単位以上、コース科目(一部共通科目含む。)を10単位以上、それぞれ修得することとし、内訳は以下のとおりとする。
<共通科目…20単位以上>
・共同教育科目 14単位以上(※必修…所属大学6単位、相手大学8単位)
・専門教育科目 3単位
・先端実践科目 3単位 ※ 獣医科学コースのみ必修
・特別専修科目 3単位 ※ 獣医専修コースのみ必修
<コース科目…10単位以上(一部共通科目含む。)>
・研究推進科目(特別演習、特別実験)及び共通科目(特別講義)のうち、主指導教員が開講する特別講義(1科目2単位)、特別演習(1科目2単位)及び特別実験(1科目2単位)、さらに両大学の副指導教員が開講する特別講義(2科目4単位)を必修とする。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
コース科目 (研究推進科目)	臨床獣医学特別実験 (大動物臨床外科学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2		1							
	臨床獣医学特別演習 (家畜臨床生化学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1							
	臨床獣医学特別演習 (内科診断学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1	1						
	臨床獣医学特別演習 (臨床細胞学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1							
	臨床獣医学特別演習 (大動物内科学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別演習 (比較病態解析学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別演習 (外科診断治療学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1	1						
	臨床獣医学特別演習 (分子診断治療学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別演習 (運動器診断治療学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別演習 (発生工学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1	2						
	臨床獣医学特別実験 (家畜臨床生化学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1							
	臨床獣医学特別実験 (内科診断学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1	1						
	臨床獣医学特別実験 (臨床細胞学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1							
	臨床獣医学特別実験 (大動物内科学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別実験 (比較病態解析学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別実験 (外科診断治療学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1	1						
	臨床獣医学特別実験 (分子診断治療学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1							
	臨床獣医学特別実験 (運動器診断治療学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別実験 (発生工学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1	2						
	小計(92科目)	—	—	—	184		34	27	0	14	0		兼1
合計(145科目)	—	—	3	282		34	27	0	14	0		兼3	
修了要件及び履修方法													
<p>1. 修了要件は、共同獣医学研究科の教育課程において、30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び論文の内容や専門分野に関する口述ないし筆記試験に合格することとする。</p> <p>なお、30単位以上のうち、10単位以上は相手大学の単位とする。</p> <p>2. 履修方法は、共通科目を20単位以上、コース科目(一部共通科目含む。)を10単位以上、それぞれ修得することとし、内訳は以下のとおりとする。</p> <p><共通科目…20単位以上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同教育科目 14単位以上(※必修…所属大学6単位、相手大学8単位) ・専門教養科目 3単位 ・先端実践科目 3単位 ※ 獣医学コースのみ必修 ・特別専修科目 3単位 ※ 獣医学専修コースのみ必修 <p><コース科目…10単位以上(一部共通科目含む。)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究推進科目(特別演習、特別実験)及び共通科目(特別講義)のうち、主指導教員が開講する特別講義(1科目2単位)、特別演習(1科目2単位)及び特別実験(1科目2単位)、さらに両大学の副指導教員が開講する特別講義(2科目4単位)を必修とする。 													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
コース科目 (研究推進科目)	臨床獣医学特別実験 (大動物臨床外科学特別実験)	1-2-3 通	山口大学	2		1							
	臨床獣医学特別演習 (家畜臨床生化学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1							
	臨床獣医学特別演習 (内科診断学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1	1						
	臨床獣医学特別演習 (臨床細胞学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1							
	臨床獣医学特別演習 (大動物内科学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別演習 (比較病態解析学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別演習 (外科診断治療学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1	1						
	臨床獣医学特別演習 (分子診断治療学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別演習 (運動器診断治療学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別演習 (発生工学特別演習)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1	2						
	臨床獣医学特別実験 (家畜臨床生化学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1							
	臨床獣医学特別実験 (内科診断学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1	1						
	臨床獣医学特別実験 (臨床細胞学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1							
	臨床獣医学特別実験 (大動物内科学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別実験 (比較病態解析学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別実験 (外科診断治療学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1	1						
	臨床獣医学特別実験 (分子診断治療学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1							
	臨床獣医学特別実験 (運動器診断治療学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1			1				
	臨床獣医学特別実験 (発生工学特別実験)	1-2-3 通	鹿児島大学	2		1	2						
	小計(90科目)	—	—	—	180		33	26	0	12	0		兼1
合計(149科目)	—	—	3	290		34	26	0	12	0		兼3	
修了要件及び履修方法													
<p>1. 修了要件は、共同獣医学研究科の教育課程において、30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び論文の内容や専門分野に関する口述ないし筆記試験に合格することとする。</p> <p>なお、30単位以上のうち、10単位以上は相手大学の単位とする。</p> <p>2. 履修方法は、共通科目を20単位以上、コース科目(一部共通科目含む。)を10単位以上、それぞれ修得することとし、内訳は以下のとおりとする。</p> <p><共通科目…20単位以上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同教育科目 14単位以上(※必修…所属大学6単位、相手大学8単位) ・専門教養科目 3単位 ・先端実践科目 3単位 ※ 獣医学コースのみ必修 ・特別専修科目 3単位 ※ 獣医学専修コースのみ必修 <p><コース科目…10単位以上(一部共通科目含む。)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究推進科目(特別演習、特別実験)及び共通科目(特別講義)のうち、主指導教員が開講する特別講義(1科目2単位)、特別演習(1科目2単位)及び特別実験(1科目2単位)、さらに両大学の副指導教員が開講する特別講義(2科目4単位)を必修とする。 													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

【山口大学大学院】

- ・教育内容の充実のため、大演准教授が担当する「基礎獣医学特別講義（分子薬理学特別講義）」、「基礎獣医学特別演習（分子薬理学特別演習）」、「基礎獣医学特別実験（分子薬理学特別実験）」の3科目を追加し、専任教員等の配置を「准教授1」とした。なお、当初担当予定の2科目「基礎獣医学特別演習（生物機能薬理学特別演習）」、「基礎獣医学特別実験（生物機能薬理学特別実験）」については、専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更するが、授業実施に支障はない。
- ・平成30年4月、佐々木教授就任に伴い、教育内容の充実のため、「臨床獣医学特別講義（大動物救急外科学特別講義）」、「臨床獣医学特別演習（大動物救急外科学特別演習）」、「臨床獣医学特別実験（大動物救急外科学特別実験）」の3科目を追加。
- ・平成30年5月、「専門科学英語スキル」を担当する非常勤講師（兼任教員）として、Alan Christ Robert氏就任。教育効果の充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・日下部准教授の教授昇任により、「基礎獣医学特別講義（動物細胞機能学特別講義）」、「基礎獣医学特別演習（動物細胞機能学特別演習）」、「基礎獣医学特別実験（動物細胞機能学特別実験）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・加納准教授の教授昇任により、「基礎獣医学特別講義（発生遺伝学特別講義）」、「基礎獣医学特別演習（発生遺伝学特別演習）」、「基礎獣医学特別実験（発生遺伝学特別実験）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・西垣准教授の教授昇任により、「応用獣医学特別講義（感染免疫学特別講義）」、「応用獣医学特別演習（感染免疫学特別演習）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更、「応用獣医学特別実験（感染免疫学特別実験）」の専任教員等の配置を「准教授1・助教1」から「教授1・助教1」に変更。
- ・谷津教授の教授昇任により、「臨床獣医学特別講義（低侵襲外科学特別講義）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更、「臨床獣医学特別演習（低侵襲外科学特別演習）」、「臨床獣医学特別実験（低侵襲外科学特別実験）」の専任教員等の配置を「准教授2・助教3」から「教授1・准教授1・助教3」に変更。
- ・下田助教の准教授昇任により、「応用獣医学特別演習（病原微生物学特別演習）」、「応用獣医学特別実験（病原微生物学特別実験）」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・助教1」から「教授1・准教授2」に変更。
- ・西川助教の辞職により、「臨床獣医学特別演習（低侵襲外科学特別演習）」及び「臨床獣医学特別実験（低侵襲外科学特別実験）」については、それぞれ専任教員等の配置を「教授1・准教授1・助教3」から「教授1・准教授1・助教2」に変更するが、授業実施に支障はない。
- ・根本助教の辞職により、「臨床獣医学特別演習（小動物臨床免疫学特別演習）」及び「臨床獣医学特別実験（小動物臨床免疫学特別実験）」については、それぞれ専任教員等の配置を「教授1・助教1」から「教授1」に変更するが、授業実施に支障はない。

【鹿児島大学大学院】

- ・担当教員の昇任により、「応用獣医学特別講義（原虫病学特別講義）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「応用獣医学特別演習（原虫病学特別演習）」及び「応用獣医学特別実験（原虫病学特別実験）」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「基礎獣医学特別講義（細胞薬理毒性学特別講義）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任及び就任により、「基礎獣医学特別演習（細胞薬理毒性学特別演習）」及び「基礎獣医学特別実験（細胞薬理毒性学特別実験）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「応用獣医学特別講義（病原生物学特別講義）」、「応用獣医学特別演習（病原生物学特別演習）」及び「応用獣医学特別実験（病原生物学特別実験）」を追加。
- ・担当授業科目の変更により、「応用獣医学特別演習（寄生虫学特別演習）」及び「応用獣医学特別実験（寄生虫学特別実験）」の専任教員等の配置を准教授2から「准教授1」に変更するが、授業実施に支障はない。
- ・担当教員の就任により「応用獣医学特別演習（獣医ウイルス学特別演習）」及び「応用獣医学特別実験（獣医ウイルス学特別実験）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「臨床獣医学特別演習（内科診断学特別演習）」及び「臨床獣医学特別実験（内科診断学特別実験）」の専任教員等の配置を「教授1・助教1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員の辞任により、「臨床獣医学特別演習（外科診断治療学特別演習）」及び「臨床獣医学特別実験（外科診断治療学特別実験）」については、それぞれ専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、准教授1」に変更するが、授業実施に支障はない。

【令和元年度】

【山口大学大学院】

- ・教育内容の充実のため、D有資格教員・6名が担当する以下の6科目を追加。（豊福教授「応用獣医学特別講義（食品安全管理学特別講義）」、清水准教授「応用獣医学特別講義（細菌遺伝子工学特別講義）」、高野准教授「応用獣医学特別講義（感染症学特別講義）」、下田准教授「応用獣医学特別講義（人獣共通感染症学特別講義）」、板本准教授「臨床獣医学特別講義（侵襲制御学特別講義）」、馬場准教授「臨床獣医学特別講義（伴侶動物内科学特別講義）」）
- ・「応用獣医学特別演習（動物衛生学特別演習）」及び「応用獣医学特別実験（動物衛生学特別実験）」については、専任教員等の配置を「教授2・助教1」から「教授1・助教1」に変更するが、授業実施に支障はない。
- ・原口助教の辞職により、「臨床獣医学特別演習（低侵襲外科学特別演習）」及び「臨床獣医学特別実験（低侵襲外科学特別実験）」については、それぞれ専任教員等の配置を「教授1・准教授1・助教2」から「教授1・准教授1・助教1」に変更するが、授業実施に支障はない。
- ・根本助教の辞職により、「臨床獣医学特別演習（小動物臨床免疫学特別演習）」及び「臨床獣医学特別実験（小動物臨床免疫学特別実験）」については、それぞれ専任教員等の配置を「教授1・助教1」から「教授1」に変更するが、授業実施に支障はない。

【鹿児島大学大学院】

- ・担当教員の辞任により、「基礎獣医学特別講義（生化学特別講義）」、「基礎獣医学特別演習（生化学特別演習）」及び「基礎獣医学特別実験（生化学特別実験）」を廃止するが、授業実施に支障はない。
- ・教育内容の充実のため、「応用獣医学特別講義（人獣共通感染細菌学特別講義）」を追加。

【令和2年度】

【山口大学大学院】

- ・令和元年10月、早坂教授就任に伴い、教育内容の充実のため、「応用獣医学特別講義（獣医微生物学特別講義）」、「応用獣医学特別演習（獣医微生物学特別演習）」、「応用獣医学特別実験（獣医微生物学特別実験）」の3科目を追加し、専任教員等の配置をそれぞれ「教授1」とした。
- ・教育内容の充実のため、高野准教授が担当する「応用獣医学特別演習（感染症学特別演習）」、「応用獣医学特別実験（感染症学特別実験）」の2科目を追加し、専任教員等の配置をそれぞれ「准教授1」とした。これに伴い、担当していた「応用獣医学特別演習（病原微生物学特別演習）」、「応用獣医学特別実験（病原微生物学特別実験）」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授1・准教授2」から「教授1・准教授1」に変更するが、授業実施に支障はない。
- ・教育内容の充実のため、谷口准教授が担当する「臨床獣医学特別講義（生理工学特別講義）」の1科目を追加し、専任教員等の配置を「准教授1」とした。
- ・渋谷助教の准教授昇任に伴い、教育内容の充実のため、「応用獣医学特別講義（栄養代謝学特別講義）」の1科目を追加し、専任教員等を配置を「准教授1」とした。これにより、担当していた「応用獣医学特別演習（動物衛生学特別演習）」及び「応用獣医学特別実験（動物衛生学特別実験）」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授1・助教1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・榎山助教の辞職により、「臨床獣医学特別演習（低侵襲外科学特別演習）」、「臨床獣医学特別実験（低侵襲外科学特別実験）」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授1・准教授1・助教1」から「教授1・准教授1」に変更するが、授業実施に支障はない。

【鹿児島大学大学院】

- ・担当教員の辞任により、「臨床獣医学特別講義（分子診断治療学特別講義）」、「臨床獣医学特別演習（分子診断治療学特別演習）」及び「臨床獣医学特別実験（分子診断治療学特別実験）」を廃止するが、授業実施に支障はない。
- ・担当教員の就任に伴い、教育内容の充実のため、「基礎獣医学特別講義（分子薬理毒性学特別講義）」、「基礎獣医学特別演習（分子薬理毒性学特別演習）」及び「基礎獣医学特別実験（分子薬理毒性学特別実験）」の3科目を追加し、専任教員等の配置を「准教授1」とした。
- ・教育内容の充実のため、「応用獣医学特別講義（感染症制御学特別講義）」を追加。
- ・担当教員の昇任により、「臨床獣医学特別講義（臨床細胞学特別講義）」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「臨床獣医学特別演習（臨床細胞学特別演習）」及び「臨床獣医学特別実験（臨床細胞学特別実験）」の専任教員等の配置を「准教授1・助教1」から「教授1・助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「臨床獣医学特別講義（比較病態解析学特別講義）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「臨床獣医学特別演習（比較病態解析学特別演習）」及び「臨床獣医学特別実験（比較病態解析学特別実験）」の専任教員等の配置を「准教授1・助教1」から「教授1・助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「臨床獣医学特別講義（運動器診断治療学特別講義）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「臨床獣医学特別演習（運動器診断治療学特別演習）」及び「臨床獣医学特別実験（運動器診断治療学特別実験）」の専任教員等の配置を「准教授1・助教1」から「教授1・助教1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

大学名	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
山口大学大学院	3 科目	61 科目	0 科目	64 科目	3 科目 [0]	80 科目 [19]	0 科目 [0]	83 科目 [19]	
鹿児島大学大学院	1 科目	79 科目	0 科目	80 科目	1 科目 [0]	78 科目 [Δ1]	0 科目 [0]	79 科目 [Δ1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
山口大学大学院	1	該当なし					
	2						
	3						
鹿児島大学大学院	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
山口大学大学院	1	該当なし					
	2						
	3						
鹿児島大学大学院	1	基礎獣医学特別講義 (感覚生理学特別講義)	2	1・2・3 前・後	専門	選択	担当教員の死亡により廃止
	2	基礎獣医学特別演習 (感覚生理学特別演習)	2	1・2・3 前・後	専門	選択	担当教員の死亡により廃止
	3	基礎獣医学特別実験 (感覚生理学特別実験)	2	1・2・3 前・後	専門	選択	担当教員の死亡により廃止
	4	基礎獣医学特別講義 (生化学特別講義)	2	1・2・3 前・後	専門	選択	担当教員の辞任により廃止
	5	基礎獣医学特別演習 (生化学特別演習)	2	1・2・3 前・後	専門	選択	担当教員の辞任により廃止
	6	基礎獣医学特別実験 (生化学特別実験)	2	1・2・3 前・後	専門	選択	担当教員の辞任により廃止
	7	臨床獣医学特別講義 (分子診断治療学特別講義)	2	1・2・3 前・後	専門	選択	担当教員の辞任により廃止
	8	臨床獣医学特別演習 (分子診断治療学特別演習)	2	1・2・3 前・後	専門	選択	担当教員の辞任により廃止
	9	臨床獣医学特別実験 (分子診断治療学特別実験)	2	1・2・3 前・後	専門	選択	担当教員の辞任により廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

山口大学大学院	: 該当なし
鹿児島大学大学院:	「大学の所見」 当該授業科目の今後の受講予定者はいないことから、支障はない。
「学生への周知方法」	学生へは、履修の手引き及びホームページにより周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(山口大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{64} = \boxed{} \%$$

(鹿児島大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{9}{80} = \boxed{11.25} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(山口大学)

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地等の用途変更による 区分の変更(2)			
	校舎敷地	413,643 360,369 389,604 389,380 m ²	0 m ²	0 m ²	413,643 360,369 389,604 389,380 m ²				
	運動場用地	127,053 m ²	0 m ²	0 m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 487,422 516,657 516,433 m ²	0 m ²	0 m ²	540,696 487,422 516,657 516,433 m ²				
	そ の 他	64,370 117,644 456,076 456,300 m ²	0 m ²	0 m ²	64,370 117,644 456,076 456,300 m ²				
	合 計	605,066 972,733 m ²	0 m ²	0 m ²	605,066 972,733 m ²				
(2) 校 舎	専 用	391,082 212,213 212,224 m ²	0 m ²	0 m ²	391,082 212,213 212,224 m ²	未算入分を計上した ことによる変更(2)			
	(391,082 212,213 212,224 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(391,082 212,213 212,224 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	103 111 114 室	演 習 室	787 843 860 室	情報処理学習施設	5 室	語学学習施設	1 室	大学全体
					(補助職員 0人)		(補助職員 0人)		建物新営・改修及び用 途変更によるもの (2)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	共同獣医学研究科 獣医学専攻			44		室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分を 含む 教育研究の充実及び購 入計画の見直し等による 変更(2)	
	共同獣医学 研究科 獣医学専攻	1,614,196 [468,286]	41,438 [16,319]	10,217 [6,056]	3,773	16	0		
		1,623,875 [470,701]	30,991 [9,885]	7,415 [6,152]	3,336	153	0		
		1,628,389 [470,925]	31,380 [9,924]	7,346 [6,006]	3,257	151	0		
		1,634,986 [470,240]	31,973 [10,001]	5,802 [4,327]	3,329	151	0		
計	1,614,196 [468,286]	41,438 [16,319]	10,217 [6,056]	3,773	16	0			
(1,623,875 [470,701])	(41,438 [16,319])	(10,217 [6,056])	(3,773)	(16)	(0)				
(1,628,389 [470,925])	(30,991 [9,885])	(7,415 [6,152])	(3,336)	(153)	(0)				
(1,634,986 [470,240])	(31,380 [9,924])	(7,346 [6,006])	(3,257)	(151)	(0)				
(1,634,986 [470,240])	(31,973 [10,001])	(5,802 [4,327])	(3,329)	(151)	(0)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	13,062m ²		1,590 席		1,501,056 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体	
	6,956 m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
		千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円		
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(鹿児島大学)

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	525,967 510,722 m ²	0 m ²	0 m ²	525,967 510,722 m ²			
	運動場用地	106,929 m ²	0 m ²	0 m ²	106,929 m ²			
	小 計	632,896 617,651 m ²	0 m ²	0 m ²	632,896 617,651 m ²			
	そ の 他	35,960,681 35,976,028 m ²	0 m ²	0 m ²	35,960,681 35,976,028 m ²			
	合 計	36,593,577 36,593,679 m ²	0 m ²	0 m ²	36,593,577 36,593,679 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
		241,689 208,888 m ² (←241,689) (208,888 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	241,689 208,888 m ² (←241,689) (208,888 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	145 室	287 室	1,662 室	29 室 (補助職員 0 人)	5 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	共同獣医学研究科 獣医学専攻			37 36 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
		共同獣医学 研究科 獣医学専攻	1,288,239 [374,399] 1,267,106 [367,041] 1,254,413 [364,029] (←1,288,239 [374,399]) (←1,267,106 [367,041]) (1,254,413 [364,029])	36,422 [11,782] 36,010 [11,705] 42,674 [17,201] (←36,422 [11,782]) (←36,010 [11,705]) (42,674 [17,201])				6,242 [5,926] 5,509 [5,506] 6,927 [5,586] (←6,242 [5,926]) (←5,509 [5,506]) (6,927 [5,586])
計	1,288,239 [374,399] 1,267,106 [367,041] 1,254,413 [364,029] (←1,288,239 [374,399]) (←1,267,106 [367,041]) (1,254,413 [364,029])	36,422 [11,782] 36,010 [11,705] 42,674 [17,201] (←36,422 [11,782]) (←36,010 [11,705]) (42,674 [17,201])	6,242 [5,926] 5,509 [5,506] 6,927 [5,586] (←6,242 [5,926]) (←5,509 [5,506]) (6,927 [5,586])	8,439 8,563 8,432 (←8,439) (←8,563) (8,432)	1,725 (1,725)	1,354,970 (1,354,970)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	15,479 15,472 m ²	1,142 1,203 席		1,205,000 1,227,500 1,227,583 冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	4,658 m ²	陸上競技場、球技場、野球場、テニスコート、武道場、室内プール、艇庫、弓道場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。
- ・ 構成大学ごとに記入してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学										備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
【学部】											
人文学部											
人文学科	4	185	-	740	学士 (文学)	1.07	1.03	-	平成28	山口県山口市 吉田1677番地1	
人文社会学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成5	同上	平成28年度 学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成5	同上	平成28年度 学生募集停止
教育学部											
学校教育教員養成課程	4	180	-	720	学士 (教育学)	1.05	1.05	-	平成10	山口県山口市 吉田1677番地1	
経済学部	4	345	-	1380	-	1.02	1.02	-	-	-	
経済学科	4	130	-	520	学士 (経済学)	-	-	-	昭和24	山口県山口市 吉田1677番地1	
経営学科	4	165	-	660	学士 (経済学)	-	-	-	昭和24	同上	
国際経済学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	-	-	昭和52	同上	平成27年度 学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	-	-	昭和55	同上	平成27年度 学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	200	学士 (経済学)	-	-	-	平成17	同上	
理学部	4	220	-	880	-	1.02	1.01	-	-	-	
数理科学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.04	1.02	-	平成7	山口県山口市 吉田1677番地1	
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士 (理学)	1.02	1.00	-	平成18	同上	
生物・化学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.00	1.00	-	平成18	同上	
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士 (理学)	1.06	1.06	-	平成18	同上	
医学部	-	227	2年次 10	1172	-	1.00	1.00	-	-	-	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士 (医学)	1.00	1.00	令和2	昭和39	山口県宇部市 南小串1丁目1番1号	定員変更 (17)
保健学科	4	120	-	480	学士 (看護学、保健学)	1.00	1.00	-	平成12	同上	
工学部	4	530	3年次 20	2160	-	1.03	1.01	-	-	-	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士 (工学)	1.05	1.02	-	平成2	山口県宇部市常盤台 2丁目16番1号	
社会建設工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.03	1.00	-	平成2	同上	
応用化学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.01	1.04	-	平成19	同上	
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士 (工学)	1.04	1.01	-	平成2	同上	
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士 (工学)	1.02	1.00	-	平成19	同上	
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士 (工学)	1.01	1.00	-	平成8	同上	
循環環境工学科	4	55	-	220	学士 (工学)	1.05	1.00	-	平成19	同上	
農学部	4	100	-	400	-	1.04	1.04	-	-	-	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士 (農学)	1.04	1.04	-	平成13	山口県山口市 吉田1677番地1	
生物機能科学科	4	50	-	200	学士 (農学)	1.04	1.04	-	平成13	同上	

共同獣医学部												
獣医学科	6	30	-	180	学士 (獣医学)	1.06	1.06	-	平成24	山口県山口市 吉田1677番地1		
国際総合科学部												
国際総合科学科	4	100	-	400	学士 (学術)	1.03	1.02	-	平成27	山口県山口市 吉田1677番地1		
〔大学全体〕	-	1917	2年次 10 3年次 20	8032	-	1.02	1.02	-	-	-		
【大学院】												
人文科学研究科 〔修士課程〕												
人文科学専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	0.49	0.62	-	平成28	山口県山口市 吉田1677番地1		
教育学研究科 〔修士課程〕												
学校教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成3	山口県山口市 吉田1677番地1	平成31年度 学生募集停止	
教科教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成3	同上	平成31年度 学生募集停止	
学校臨床心理学専攻	2	7	-	14	修士 (教育学)	0.78	1.00	-	令和元	同上		
〔専門職学位課程〕												
教職実践高度化専攻	2	28	-	56	教職修士 (専門職)	0.64	0.64	-	令和元	同上		
経済学研究科 〔修士課程〕												
経済学専攻	2	26	-	52	-	0.78	0.46	-	-	-		
企業経営専攻	2	16	-	32	修士 (経済学)	0.81	0.31	-	昭和50	山口県山口市 吉田1677番地1		
企業経営専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.75	0.70	-	平成7	同上		
医学系研究科 〔一貫制博士課程〕												
医学専攻	4	33	-	132	博士 (医学)	0.89	0.87	-	平成28	山口県宇部市 南小串1丁目1番1号		
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	-	-	平成18	同上	平成28年度 学生募集停止	
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	-	-	平成18	同上	平成28年度 学生募集停止	
〔博士前期課程〕												
保健学専攻	2	12	-	24	修士 (保健学)	0.99	0.83	-	平成17	同上		
〔博士後期課程〕												
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士 (医工学)	-	-	-	平成13	同上	平成28年度 学生募集停止	
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士 (生命科学、学術)	-	-	-	平成18	同上	平成28年度 学生募集停止	
保健学専攻	3	5	-	15	博士 (保健学)	0.73	0.60	-	平成19	同上		
創成科学研究科 〔修士課程〕												
山口大学・カセサート大学 国際連携農学生命科学専攻	2	6	-	6	修士 (農学、生命科学)	0.33	0.33	-	令和2	山口県山口市 吉田1677番地1		
〔博士前期課程〕												
基盤科学系専攻	2	440	-	886	-	0.90	0.91	-	-	-		
地球圏生物物質科学系専攻	2	38	-	76	修士 (理学)	0.95	0.97	-	平成28	山口県山口市 吉田1677番地1		
機械工学系専攻	2	42	-	84	修士 (理学)	1.08	1.19	-	平成28	同上		
建設環境系専攻	2	60	-	120	修士 (工学)	1.04	0.93	-	平成28	山口県宇部市常盤台 2丁目16番1号		
建設環境系専攻	2	74	-	148	修士 (工学)	0.68	0.70	-	平成28	同上		

化学系専攻	2	83	-	166	修士 (工学、学術)	0.89	0.89	-	平成28	山口県宇部市常盤台 2丁目16番1号	
電気電子情報系専攻	2	107	-	214	修士 (工学)	0.91	0.95	-	平成28	同上	
農学系専攻	2	36	-	78	修士 (農学、生命科学)	0.89	0.91	-	平成28	山口県山口市 吉田1677番地1	
〔博士後期課程〕	3	44	-	132	-	0.77	0.54	-	-	-	
自然科学系専攻	3	7	-	21	博士 (理学、学術)	0.71	0.28	-	平成28	山口県山口市 吉田1677番地1	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	30	博士 (工学、学術)	0.76	0.70	-	平成28	山口県宇部市常盤台 2丁目16番1号	
環境共生系専攻	3	12	-	36	博士 (工学、学術)	1.10	0.83	-	平成28	同上	
物質工学系専攻	3	8	-	24	博士 (工学、学術)	0.28	0.12	-	平成28	同上	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	21	博士 (農工学、生命科学、学術)	0.85	0.57	-	平成28	同上	
理工学研究科											
〔博士後期課程〕											
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士 (理学、工学、学術)	-	-	-	平成18	山口県山口市 吉田1677番地1	平成28年度 学生募集停止
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士 (工学、学術)	-	-	-	平成18	山口県宇部市常盤台 2丁目16番1号	平成28年度 学生募集停止
東アジア研究科											
〔博士後期課程〕											
東アジア専攻	3	10	-	30	博士 (学術)	1.00	0.90	-	平成13	山口県山口市 吉田1677番地1	
技術経営研究科											
〔専門職学位課程〕											
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営 修士 (専門職)	1.13	0.86	-	平成17	山口県宇部市常盤台 2丁目16番1号	
連合獣医学研究科											
〔一貫制博士課程〕											
獣医学専攻	4	-	-	16	博士 (獣医学)	-	-	-	平成2	山口大学 山口県山口市吉田 1677番地1 鳥取大学 鳥取県鳥取市湖山町南 4丁目101 鹿児島大学 鹿児島県鹿児島市郡元 1丁目21番24号	平成31年度 学生募集停止
共同獣医学研究科											
〔一貫制博士課程〕											
獣医学専攻	4	6	-	18	博士 (獣医学)	1.27	1.00	-	平成30	山口大学 山口県山口市吉田 1677番地1 鹿児島大学 鹿児島県鹿児島市郡元 1丁目21番24号	
〔大学院全体〕	-	640	-	1427	-	0.92	0.84	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・構成大学ごとに記入してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	鹿 児 島 大 学										備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
《AC対象学部等》											
法文学部											
法経社会学科	4	245	3年次6	992	学士 (法学・経済学・学術)	1.02	1.00	-	平成29年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	(編入学定員は内数)
人文学科	4	165	3年次4	668	学士 (文学)	1.02	1.03	-	平成29年度	同上	同上
法政策学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	-	-	平成9年度	同上	平成29年度学生募集停止
経済情報学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	-	-	平成9年度	同上	同上
人文学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	昭和54年度	同上	同上
			3年次-	-							
教育学部											
学校教育教員養成課程	4	190	-	790	学士 (教育学)	1.02	1.02	-	平成9年度	鹿児島市郡元一丁目20番6号	令和2年度入学定員減(△10人)
特別支援教育教員養成課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	昭和49年度	同上	令和2年度学生募集停止
生涯教育総合課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成9年度	同上	平成29年度学生募集停止
理学部											
理学科	4	185	-	185	学士 (理学)	1.01	1.01	-	令和2年度	鹿児島市郡元一丁目21番35号	
数理情報科学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平成9年度	同上	令和2年度学生募集停止
物理科学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平成9年度	同上	同上
生命化学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平成9年度	同上	同上
地球環境科学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平成9年度	同上	同上
医学部											
医学科	6	110	2年次10	695	学士 (医学)	1.00	1.00	令和2年度	昭和30年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	(編入学定員は内数)
保健学科										同上	
看護学専攻	4	80	3年次10	340	学士 (看護学)	1.00	1.00	-	平成11年度	同上	(編入学定員は内数)
理学療法専攻	4	20	3年次5	90	学士 (保健学)	1.02	1.10	-	平成11年度	同上	同上
作業療法専攻	4	20	3年次5	90	学士 (保健学)	1.01	1.05	-	平成11年度	同上	同上
歯学部											
歯学科	6	53	-	318	学士 (歯学)	1.00	1.00	-	昭和52年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
工学部											
先進工学科	4	385	3年次17	385	学士 (工学)	1.02	1.02	-	令和2年度	鹿児島市郡元一丁目21番40号	(編入学定員は内数)
建築学科	4	55	3年次3	55	学士 (工学)	1.05	1.05	-	令和2年度	同上	同上

機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和30年度	鹿児島市郡元一丁目21番40号	令和2年度学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成4年度	同上	同上
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和30年度	同上	同上
環境化学プロセス工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成21年度	同上	同上
海洋土木工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成4年度	同上	同上
情報生体システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成21年度	同上	同上
化学生命工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成21年度	同上	同上
			3年次	-							
農学部						1.05	1.08			-	
農業生産科学科	4	75	-	300	学士 (農学)	1.08	1.06	-	平成28年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	
食料生命科学科	4	70	-	280	学士 (農学)	1.01	1.02	-	平成28年度	同上	
農林環境科学科	4	60	-	240	学士 (農学)	1.06	1.18	-	平成28年度	同上	
生物生産学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	-	平成2年度	同上	平成28年度学生募集停止
生物資源化学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	-	平成2年度	同上	同上
生物環境学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	-	平成2年度	同上	同上
水産学部						1.05	1.08			-	
水産学科	4	140	-	560	学士 (水産学)	1.05	1.08	-	昭和50年度	鹿児島市下荒田四丁目50番20号	
共同獣医学部						1.05	1.06			-	
獣医学科	6	30	-	180	学士 (獣医学)	1.05	1.06	-	平成24年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	
大学全体	-	1883	60	6168	-	1.02	1.03	-	-	-	

大学の名称	鹿児島大学大学院										備考
-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
【修士（博士前期）課程】											
人文社会科学研究科						0.71	0.60			-	
法学専攻	2	5	-	10	修士 (法学)	1.20	0.80	-	平成10年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	
経済社会システム専攻	2	10	-	20	修士 (経済学・社会学)	0.50	0.40	-	平成10年度	同上	
人間環境文化論専攻	2	5	-	10	修士 (文学)	1.00	1.00	-	平成10年度	同上	
国際総合文化論専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	0.50	0.50	-	平成10年度	同上	
教育学研究科						0.93	1.09			-	
教育実践総合専攻	2	22	-	44	修士 (教育学)	0.93	1.09	-	平成21年度	鹿児島市郡元一丁目20番6号	
医歯学総合研究科						1.35	1.20			-	
医科学専攻	2	10	-	20	修士 (医科学)	1.35	1.20	-	平成16年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	

保健学研究科						1.02	1.00			—	
保健学専攻	2	22	—	44	修士 (保健学・看護学)	1.02	1.00	—	平成15年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
理工学研究科						1.03	1.03			—	
理学専攻	2	64	—	64	修士 (理学・学術)	0.96	0.96	—	令和2年度	鹿児島市郡元一丁目21番40号	
工学専攻	2	222	—	222	修士 (工学・学術)	1.05	1.05	—	令和2年度	同上	
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学・学術)	—	—	—	平成21年度	同上	令和2年度学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学・学術)	—	—	—	平成21年度	同上	同上
建築学専攻	2	—	—	—	修士 (工学・学術)	—	—	—	平成21年度	同上	同上
化学生命・化学工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学・学術)	—	—	—	平成21年度	同上	同上
海洋土木工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学・学術)	—	—	—	平成21年度	同上	同上
情報生体システム工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学・学術)	—	—	—	平成21年度	同上	同上
数理情報科学専攻	2	—	—	—	修士 (理学・学術)	—	—	—	平成21年度	同上	同上
物理・宇宙専攻	2	—	—	—	修士 (理学・学術)	—	—	—	平成21年度	同上	同上
生命化学専攻	2	—	—	—	修士 (理学・学術)	—	—	—	平成21年度	同上	同上
地球環境科学専攻	2	—	—	—	修士 (理学・学術)	—	—	—	平成21年度	同上	同上
農林水産学研究科						0.88	0.82			—	
農林資源科学専攻	2	39	—	78	修士 (農学)	0.84	0.69	—	令和元年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号・鹿児島市下荒田四丁目50番20号	
食品創成科学専攻	2	26	—	52	修士 (農学・水産学)	1.09	1.07	—	令和元年度	同上	
環境フィールド科学専攻	2	16	—	32	修士 (農学・水産学)	0.78	0.75	—	令和元年度	同上	
水産資源科学専攻	2	20	—	40	修士 (水産学)	0.77	0.80	—	令和元年度	同上	
農学研究科										—	
生物生産学専攻	2	—	—	—	修士 (農学)	—	—	—	平成6年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号	令和元年度学生募集停止
生物資源化学専攻	2	—	—	—	修士 (農学)	—	—	—	平成6年度	同上	同上
生物環境学専攻	2	—	—	—	修士 (農学)	—	—	—	平成6年度	同上	同上
水産学研究科										—	
水産学専攻	2	—	—	—	修士 (水産学)	—	—	—	昭和54年度	鹿児島市下荒田四丁目50番20号	令和元年度学生募集停止
【博士後期課程】											
人文社会科学研究科						0.61	0.50			—	
地域政策科学専攻	3	6	—	18	博士 (学術)	0.61	0.50	—	平成15年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号	
医歯学総合研究科						1.11	1.18			—	
健康科学専攻	4	19	—	76	博士 (医学・歯学・学術)	0.78	1.00	—	平成15年度	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	
先進治療科学専攻	4	31	—	124	博士 (医学・歯学・学術)	1.31	1.30	—	平成15年度	同上	

保健学研究科						1.22	1.66				—	
保健学専攻	3	6	—	18	博士 (保健学)	1.22	1.66	—	平成17年度	鹿児島市桜ヶ丘 八丁目35番1号		
理工学研究科						0.33	0.33				—	
総合理工学専攻	3	24	—	72	博士 (理学・工学・ 学術)	0.33	0.33	—	平成28年度	鹿児島市郡元一 丁目21番40号		
物質生産科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・ 学術)	—	—	—	平成21年度	同上	平成28年度学生 募集停止	
システム情報科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・ 学術)	—	—	—	平成21年度	同上	同上	
生命環境科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・ 学術)	—	—	—	平成21年度	同上	同上	
共同獣医学研究科						1.33	1.00				—	
獣医学専攻	4	6	—	18	博士 (獣医学)	1.33	1.00	—	平成30年度	鹿児島市郡元一 丁目21番24号		
連合農学研究科						1.20	1.13				—	
生物生産科学専攻	3	7	—	21	博士 (農学・ 水産学・学術)	1.09	0.85	—	平成21年度	鹿児島市郡元一 丁目21番24号		
応用生命科学専攻	3	8	—	24	博士 (農学・ 水産学・学術)	1.33	1.00	—	平成21年度	同上		
農水圏資源環境科学専攻	3	8	—	24	博士 (農学・ 水産学・学術)	1.16	1.50	—	平成21年度	同上		
【専門職学位課程】												
教育学研究科						0.93	1.06				—	
学校教育実践高度化専攻	2	16	—	32	教職修士 (専門職)	0.93	1.06	—	平成29年度	鹿児島市郡元一 丁目20番6号		
臨床心理学研究科						1.00	1.00				—	
臨床心理学専攻	2	15	—	30	臨床心理 修士 (専門職)	1.00	1.00	—	平成19年度	鹿児島市郡元一 丁目21番30号		
大学院全体	—	615	—	1109	—	0.97	0.97	—	—	—		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・構成大学ごとに記入してください。

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高木 光博 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別講義 (産業動物獣医学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (産業動物獣医学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (産業動物獣医学特別実験)
専	教授	度会 雅久 <平成30年4月> 博士(医学) 応用獣医学特別講義 (病原細菌学特別講義) 応用獣医学特別演習 (病原細菌学特別演習) 応用獣医学特別実験 (病原細菌学特別実験) 専門科学英語スキル
専	准教授	日下部 健 <平成30年4月> 博士(医学) 基礎獣医学特別講義 (動物細胞機能学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (動物細胞機能学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (動物細胞機能学特別実験)
専	准教授	加納 聖 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (発生遺伝学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (発生遺伝学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (発生遺伝学特別実験)
専	准教授	大濱 剛 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別演習 (生物機能薬理学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (生物機能薬理学特別実験)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高木 光博 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別講義 (産業動物獣医学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (産業動物獣医学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (産業動物獣医学特別実験)
専	教授	度会 雅久 <平成30年4月> 博士(医学) 応用獣医学特別講義 (病原細菌学特別講義) 応用獣医学特別演習 (病原細菌学特別演習) 応用獣医学特別実験 (病原細菌学特別実験)
専	教授	佐々木 直樹 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別講義 (大動物救急外科学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (大動物救急外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (大動物救急外科学特別実験)
専	教授	日下部 健 <平成30年4月> 博士(医学) 基礎獣医学特別講義 (動物細胞機能学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (動物細胞機能学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (動物細胞機能学特別実験)
専	教授	加納 聖 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (発生遺伝学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (発生遺伝学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (発生遺伝学特別実験)
専	准教授	大濱 剛 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (分子薬理学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (分子薬理学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (分子薬理学特別実験)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高木 光博 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別講義 (産業動物獣医学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (産業動物獣医学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (産業動物獣医学特別実験)
専	教授	度会 雅久 <平成30年4月> 博士(医学) 応用獣医学特別講義 (病原細菌学特別講義) 応用獣医学特別演習 (病原細菌学特別演習) 応用獣医学特別実験 (病原細菌学特別実験)
専	教授	佐々木 直樹 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別講義 (大動物救急外科学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (大動物救急外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (大動物救急外科学特別実験)
専	教授	日下部 健 <平成30年4月> 博士(医学) 基礎獣医学特別講義 (動物細胞機能学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (動物細胞機能学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (動物細胞機能学特別実験)
専	教授	加納 聖 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (発生遺伝学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (発生遺伝学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (発生遺伝学特別実験)
専	准教授	大濱 剛 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (分子薬理学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (分子薬理学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (分子薬理学特別実験)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高木 光博 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別講義 (産業動物獣医学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (産業動物獣医学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (産業動物獣医学特別実験)
専	教授	度会 雅久 <平成30年4月> 博士(医学) 応用獣医学特別講義 (病原細菌学特別講義) 応用獣医学特別演習 (病原細菌学特別演習) 応用獣医学特別実験 (病原細菌学特別実験)
専	教授	佐々木 直樹 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別講義 (大動物救急外科学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (大動物救急外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (大動物救急外科学特別実験)
専	教授	早坂 大輔 <令和元年10月> 博士(獣医学) 応用獣医学特別講義 (獣医療微生物学特別講義) 応用獣医学特別演習 (獣医療微生物学特別演習) 応用獣医学特別実験 (獣医療微生物学特別実験)
専	教授	日下部 健 <平成30年4月> 博士(医学) 基礎獣医学特別講義 (動物細胞機能学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (動物細胞機能学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (動物細胞機能学特別実験)
専	教授	加納 聖 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (発生遺伝学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (発生遺伝学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (発生遺伝学特別実験)
専	准教授	大濱 剛 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (分子薬理学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (分子薬理学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (分子薬理学特別実験)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	谷口 雅康 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		臨床獣医学特別演習 (産業動物獣医学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (産業動物獣医学特別実験)
専	准教授	板本 和仁 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		臨床獣医学特別演習 (低侵襲外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科学特別実験)
専	助教	下田 宙 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		応用獣医学特別演習 (病原微生物学特別演習) 応用獣医学特別実験 (病原微生物学特別実験)
専	助教	櫻井 優 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		応用獣医学特別演習 (実験病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (実験病理学特別実験)
専	助教	坂井 祐介 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		応用獣医学特別演習 (実験病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (実験病理学特別実験)
専	助教	渋谷 周作 <平成30年4月> Ph. D. in Biology (博士(生物学))
		応用獣医学特別演習 (動物衛生学特別演習) 応用獣医学特別実験 (動物衛生学特別実験)
専	助教	三宅 在子 <平成30年4月> 博士(人間・環境学)
		応用獣医学特別演習 (感染免疫学特別演習) 応用獣医学特別実験 (感染免疫学特別実験)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	谷口 雅康 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		臨床獣医学特別演習 (産業動物獣医学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (産業動物獣医学特別実験)
専	准教授	板本 和仁 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		臨床獣医学特別演習 (低侵襲外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科学特別実験)
専	准教授	下田 宙 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		応用獣医学特別演習 (病原微生物学特別演習) 応用獣医学特別実験 (病原微生物学特別実験)
専	助教	櫻井 優 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		応用獣医学特別演習 (実験病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (実験病理学特別実験)
専	助教	坂井 祐介 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		応用獣医学特別演習 (実験病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (実験病理学特別実験)
専	助教	渋谷 周作 <平成30年4月> Ph. D. in Biology (博士(生物学))
		応用獣医学特別演習 (動物衛生学特別演習) 応用獣医学特別実験 (動物衛生学特別実験)
専	助教	三宅 在子 <平成30年4月> 博士(人間・環境学)
		応用獣医学特別演習 (感染免疫学特別演習) 応用獣医学特別実験 (感染免疫学特別実験)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	谷口 雅康 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		臨床獣医学特別演習 (産業動物獣医学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (産業動物獣医学特別実験)
専	准教授	板本 和仁 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		臨床獣医学特別講義 (疫学制御学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (低侵襲外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科学特別実験)
専	准教授	下田 宙 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		応用獣医学特別講義 (人獣共通感染症学特別講義) 応用獣医学特別演習 (病原微生物学特別演習) 応用獣医学特別実験 (病原微生物学特別実験)
専	助教	櫻井 優 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		応用獣医学特別演習 (実験病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (実験病理学特別実験)
専	助教	坂井 祐介 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		応用獣医学特別演習 (実験病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (実験病理学特別実験)
専	助教	渋谷 周作 <平成30年4月> Ph. D. in Biology (博士(生物学))
		応用獣医学特別演習 (動物衛生学特別演習) 応用獣医学特別実験 (動物衛生学特別実験)
専	助教	三宅 在子 <平成30年4月> 博士(人間・環境学)
		応用獣医学特別演習 (感染免疫学特別演習) 応用獣医学特別実験 (感染免疫学特別実験)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	谷口 雅康 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		臨床獣医学特別講義 (生殖工学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (産業動物獣医学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (産業動物獣医学特別実験)
専	准教授	板本 和仁 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		臨床獣医学特別講義 (疫学制御学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (低侵襲外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科学特別実験)
専	准教授	下田 宙 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		応用獣医学特別講義 (人獣共通感染症学特別講義) 応用獣医学特別演習 (病原微生物学特別演習) 応用獣医学特別実験 (病原微生物学特別実験)
専	助教	櫻井 優 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		応用獣医学特別演習 (実験病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (実験病理学特別実験)
専	助教	坂井 祐介 <平成30年4月> 博士(獣医学)
		応用獣医学特別演習 (実験病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (実験病理学特別実験)
専	准教授	渋谷 周作 <平成30年4月> Ph. D. in Biology (博士(生物学))
		応用獣医学特別講義 (栄養代謝学特別講義) 応用獣医学特別演習 (動物衛生学特別演習) 応用獣医学特別実験 (動物衛生学特別実験)
専	助教	三宅 在子 <平成30年4月> 博士(人間・環境学)
		応用獣医学特別演習 (感染免疫学特別演習) 応用獣医学特別実験 (感染免疫学特別実験)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	渡邊 健太 <平成30年4月> 博士(獣医学) 応用獣医学特別演習 (病原細菌学特別演習) 応用獣医学特別実験 (病原細菌学特別実験)
専	助教	檜山 雅人 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (低侵襲外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科学特別実験)
専	助教	井芹 俊恵 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (腫瘍外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (腫瘍外科学特別実験)
専	助教	根本 有希 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (小動物臨床免疫学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (小動物臨床免疫学特別実験)
専	助教	原口 友也 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (低侵襲外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科学特別実験)
専	助教	西川 晋平 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (低侵襲外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科学特別実験)
兼任	准教授	村田 智昭 <平成30年4月> 博士(獣医学) 応用獣医学特別演習 (実験病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (実験病理学特別実験)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	渡邊 健太 <平成30年4月> 博士(獣医学) 応用獣医学特別演習 (病原細菌学特別演習) 応用獣医学特別実験 (病原細菌学特別実験)
専	助教	檜山 雅人 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (低侵襲外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科学特別実験)
専	助教	井芹 俊恵 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (腫瘍外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (腫瘍外科学特別実験)
専	助教	根本 有希 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (小動物臨床免疫学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (小動物臨床免疫学特別実験)
専	助教	原口 友也 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (低侵襲外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科学特別実験)
兼任	准教授	村田 智昭 <平成30年4月> 博士(獣医学) 応用獣医学特別演習 (実験病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (実験病理学特別実験)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	渡邊 健太 <平成30年4月> 博士(獣医学) 応用獣医学特別演習 (病原細菌学特別演習) 応用獣医学特別実験 (病原細菌学特別実験)
専	助教	檜山 雅人 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (低侵襲外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科学特別実験)
専	助教	井芹 俊恵 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (腫瘍外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (腫瘍外科学特別実験)
兼任	准教授	村田 智昭 <平成30年4月> 博士(獣医学) 応用獣医学特別演習 (実験病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (実験病理学特別実験)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	渡邊 健太 <平成30年4月> 博士(獣医学) 応用獣医学特別演習 (病原細菌学特別演習) 応用獣医学特別実験 (病原細菌学特別実験)
専	助教	井芹 俊恵 <平成30年4月> 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (腫瘍外科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (腫瘍外科学特別実験)
兼任	准教授	村田 智昭 <平成30年4月> 博士(獣医学) 応用獣医学特別演習 (実験病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (実験病理学特別実験)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		Alan Christ Robert
兼任	講師	<平成30年5月> 教育学修士 専門科学英語スキル

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		Alan Christ Robert
兼任	講師	<平成30年5月> 教育学修士 専門科学英語スキル

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		Alan Christ Robert
兼任	講師	<平成30年5月> 教育学修士 専門科学英語スキル

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 - ・ 構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

(1) -① 担当教員表
 <鹿兒島大学大学院>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松元 光春 <平成30年4月> 博士(農学) 基礎獣医学特別講義 (比較解剖学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (比較解剖学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (比較解剖学特別実験)
専	教授	川崎 安亮 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (感覚生理学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (感覚生理学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (感覚生理学特別実験)
専	教授	藤田 秋一 <平成30年4月> 博士(農学) 基礎獣医学特別講義 (分子細胞生物学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (分子細胞生物学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (分子細胞生物学特別実験)
専	教授	宮本 篤 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (比較薬理学特別講義) プレゼンテーションスキル 学術情報収集スキル 機関研修スキル 基礎獣医学特別演習 (比較薬理学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (比較薬理学特別実験)
専	教授	浅野 淳 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (実験動物学特別講義) 特別専修スキル 基礎獣医学特別演習 (実験動物学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (実験動物学特別実験)
専	教授	三好 宣彰 <平成30年4月> 博士(農学) 応用獣医学特別講義 (腫瘍病理学特別講義) 特別専修スキル 応用獣医学特別演習 (腫瘍病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (腫瘍病理学特別実験)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松元 光春 <平成30年4月> 博士(農学) 基礎獣医学特別講義 (比較解剖学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (比較解剖学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (比較解剖学特別実験)
専	教授	藤田 秋一 <平成30年4月> 博士(農学) 基礎獣医学特別講義 (分子細胞生物学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (分子細胞生物学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (分子細胞生物学特別実験)
専	教授	宮本 篤 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (比較薬理学特別講義) プレゼンテーションスキル 学術情報収集スキル 機関研修スキル 基礎獣医学特別演習 (比較薬理学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (比較薬理学特別実験)
専	教授	浅野 淳 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (実験動物学特別講義) 特別専修スキル 基礎獣医学特別演習 (実験動物学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (実験動物学特別実験)
専	教授	三好 宣彰 <平成30年4月> 博士(農学) 応用獣医学特別講義 (腫瘍病理学特別講義) 特別専修スキル 応用獣医学特別演習 (腫瘍病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (腫瘍病理学特別実験)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松元 光春 <平成30年4月> 博士(農学) 基礎獣医学特別講義 (比較解剖学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (比較解剖学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (比較解剖学特別実験)
専	教授	藤田 秋一 <平成30年4月> 博士(農学) 基礎獣医学特別講義 (分子細胞生物学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (分子細胞生物学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (分子細胞生物学特別実験)
専	教授	宮本 篤 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (比較薬理学特別講義) プレゼンテーションスキル 学術情報収集スキル 機関研修スキル 基礎獣医学特別演習 (比較薬理学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (比較薬理学特別実験)
専	教授	浅野 淳 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (実験動物学特別講義) 特別専修スキル 基礎獣医学特別演習 (実験動物学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (実験動物学特別実験)
専	教授	三好 宣彰 <平成30年4月> 博士(農学) 応用獣医学特別講義 (腫瘍病理学特別講義) 特別専修スキル 応用獣医学特別演習 (腫瘍病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (腫瘍病理学特別実験)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松元 光春 <平成30年4月> 博士(農学) 基礎獣医学特別講義 (比較解剖学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (比較解剖学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (比較解剖学特別実験)
専	教授	藤田 秋一 <平成30年4月> 博士(農学) 基礎獣医学特別講義 (分子細胞生物学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (分子細胞生物学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (分子細胞生物学特別実験)
専	教授	宮本 篤 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (比較薬理学特別講義) プレゼンテーションスキル 学術情報収集スキル 機関研修スキル 基礎獣医学特別演習 (比較薬理学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (比較薬理学特別実験)
専	教授	浅野 淳 <平成30年4月> 博士(獣医学) 基礎獣医学特別講義 (実験動物学特別講義) 特別専修スキル 基礎獣医学特別演習 (実験動物学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (実験動物学特別実験)
専	教授	三好 宣彰 <平成30年4月> 博士(農学) 応用獣医学特別講義 (腫瘍病理学特別講義) 特別専修スキル 応用獣医学特別演習 (腫瘍病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (腫瘍病理学特別実験)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	窪田 力 ＜平成30年4月＞ 博士（農学） 臨床獣医学特別講義 (発生工学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (発生工学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (発生工学特別実験)
専	准教授	叶内 宏明 ＜平成30年4月＞ 博士（農学） 基礎獣医学特別講義 (生化学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (生化学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (生化学特別実験)
専	准教授	白石 光也 ＜平成30年4月＞ 博士（獣医学） 基礎獣医学特別講義 (細胞薬理毒性学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (細胞薬理毒性学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (細胞薬理毒性学特別実験)
専	准教授	有村 卓朗 ＜平成30年4月＞ 博士（医学） 基礎獣医学特別講義 (ゲノム医科学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (ゲノム医科学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (ゲノム医科学特別実験)
専	准教授	小尾 岳士 ＜平成30年4月＞ 博士（獣医学） 応用獣医学特別講義 (感染性微生物学特別講義) 応用獣医学特別演習 (感染性微生物学特別演習) 応用獣医学特別実験 (感染性微生物学特別実験)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	窪田 力 ＜平成30年4月＞ 博士（農学） 臨床獣医学特別講義 (発生工学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (発生工学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (発生工学特別実験)
専	准教授	内藤(新家) 清惟 ＜平成30年10月＞ 博士（獣医学） 基礎獣医学特別演習 (細胞薬理毒性学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (細胞薬理毒性学特別実験)
専	准教授	叶内 宏明 ＜平成30年4月＞ 博士（農学） 基礎獣医学特別講義 (生化学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (生化学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (生化学特別実験)
専	教授	白石 光也 ＜平成30年4月＞ 博士（獣医学） 基礎獣医学特別講義 (細胞薬理毒性学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (細胞薬理毒性学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (細胞薬理毒性学特別実験)
専	准教授	有村 卓朗 ＜平成30年4月＞ 博士（医学） 基礎獣医学特別講義 (ゲノム医科学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (ゲノム医科学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (ゲノム医科学特別実験)
専	准教授	小尾 岳士 ＜平成30年4月＞ 博士（獣医学） 応用獣医学特別講義 (感染性微生物学特別講義) 応用獣医学特別演習 (感染性微生物学特別演習) 応用獣医学特別実験 (感染性微生物学特別実験)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	窪田 力 ＜平成30年4月＞ 博士（農学） 臨床獣医学特別講義 (発生工学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (発生工学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (発生工学特別実験)
専	准教授	内藤(新家) 清惟 ＜平成30年10月＞ 博士（獣医学） 基礎獣医学特別演習 (細胞薬理毒性学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (細胞薬理毒性学特別実験)
専	教授	白石 光也 ＜平成30年4月＞ 博士（獣医学） 基礎獣医学特別講義 (細胞薬理毒性学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (細胞薬理毒性学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (細胞薬理毒性学特別実験)
専	准教授	有村 卓朗 ＜平成30年4月＞ 博士（医学） 基礎獣医学特別講義 (ゲノム医科学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (ゲノム医科学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (ゲノム医科学特別実験)
専	准教授	小尾 岳士 ＜平成30年4月＞ 博士（獣医学） 応用獣医学特別講義 (感染性微生物学特別講義) 応用獣医学特別演習 (感染性微生物学特別演習) 応用獣医学特別実験 (感染性微生物学特別実験)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	窪田 力 ＜平成30年4月＞ 博士（農学） 臨床獣医学特別講義 (発生工学特別講義) 臨床獣医学特別演習 (発生工学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (発生工学特別実験)
専	准教授	内藤(新家) 清惟 ＜平成30年10月＞ 博士（獣医学） 基礎獣医学特別演習 (細胞薬理毒性学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (細胞薬理毒性学特別実験)
専	准教授	宇野 康弘 ＜令和2年4月＞ 博士（獣医学） 基礎獣医学特別講義 (分子薬理毒性学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (分子薬理毒性学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (分子薬理毒性学特別実験)
専	教授	白石 光也 ＜平成30年4月＞ 博士（獣医学） 基礎獣医学特別講義 (細胞薬理毒性学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (細胞薬理毒性学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (細胞薬理毒性学特別実験)
専	准教授	有村 卓朗 ＜平成30年4月＞ 博士（医学） 基礎獣医学特別講義 (ゲノム医科学特別講義) 基礎獣医学特別演習 (ゲノム医科学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (ゲノム医科学特別実験)
専	准教授	小尾 岳士 ＜平成30年4月＞ 博士（獣医学） 応用獣医学特別講義 (感染性微生物学特別講義) 応用獣医学特別演習 (感染性微生物学特別演習) 応用獣医学特別実験 (感染性微生物学特別実験)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	辻尾 祐志 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学) 基礎獣医学特別演習 (比較解剖学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (比較解剖学特別実験)
専	助教	一二三 達郎 ＜平成30年4月＞ 学士(獣医学)※ 応用獣医学特別演習 (腫瘍病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (腫瘍病理学特別実験)
専	助教	高橋 雅 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (内科診断学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (内科診断学特別実験)
専	助教	石川 真悟 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (大動物内科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (大動物内科学特別実験)
専	助教	十川 英 ＜平成30年4月＞ 学士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (運動器診断治療学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (運動器診断治療学特別実験)
専	助教	須永 隆文 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (外科診断治療学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (外科診断治療学特別実験)
専	助教	齋藤 靖生 ＜平成30年4月＞ 学士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (比較病態解析学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (比較病態解析学特別実験)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	辻尾 祐志 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学) 基礎獣医学特別演習 (比較解剖学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (比較解剖学特別実験)
専	助教	一二三 達郎 ＜平成30年4月＞ 学士(獣医学)※ 応用獣医学特別演習 (腫瘍病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (腫瘍病理学特別実験)
専	准教授	高橋 雅 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (内科診断学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (内科診断学特別実験)
専	助教	石川 真悟 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (大動物内科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (大動物内科学特別実験)
専	助教	十川 英 ＜平成30年4月＞ 学士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (運動器診断治療学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (運動器診断治療学特別実験)
専	助教	齋藤 靖生 ＜平成30年4月＞ 学士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (比較病態解析学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (比較病態解析学特別実験)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	辻尾 祐志 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学) 基礎獣医学特別演習 (比較解剖学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (比較解剖学特別実験)
専	助教	一二三 達郎 ＜平成30年4月＞ 学士(獣医学)※ 応用獣医学特別演習 (腫瘍病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (腫瘍病理学特別実験)
専	准教授	高橋 雅 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (内科診断学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (内科診断学特別実験)
専	助教	石川 真悟 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (大動物内科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (大動物内科学特別実験)
専	助教	十川 英 ＜平成30年4月＞ 学士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (運動器診断治療学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (運動器診断治療学特別実験)
専	助教	齋藤 靖生 ＜平成30年4月＞ 学士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (比較病態解析学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (比較病態解析学特別実験)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	辻尾 祐志 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学) 基礎獣医学特別演習 (比較解剖学特別演習) 基礎獣医学特別実験 (比較解剖学特別実験)
専	助教	一二三 達郎 ＜平成30年4月＞ 学士(獣医学)※ 応用獣医学特別演習 (腫瘍病理学特別演習) 応用獣医学特別実験 (腫瘍病理学特別実験)
専	准教授	高橋 雅 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (内科診断学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (内科診断学特別実験)
専	助教	石川 真悟 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (大動物内科学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (大動物内科学特別実験)
専	助教	十川 英 ＜平成30年4月＞ 学士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (運動器診断治療学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (運動器診断治療学特別実験)
専	助教	齋藤 靖生 ＜平成30年4月＞ 学士(獣医学) 臨床獣医学特別演習 (比較病態解析学特別演習) 臨床獣医学特別実験 (比較病態解析学特別実験)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Smith Henry Ivan <平成30年4月> Master of Science (英国)
		専門科学英語スキル

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	Smith Henry Ivan <平成30年4月> Master of Science (英国)
		専門科学英語スキル

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	Smith Henry Ivan <平成30年4月> Master of Science (英国)
		専門科学英語スキル

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	Smith Henry Ivan <平成30年4月> Master of Science (英国)
		専門科学英語スキル

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順)に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 - ・ 構成大学毎に記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<山口大学大学院>

【平成30年度】

- ・平成30年1月、日下部准教授が教授へ昇任。(山口大学は「事前伺い」手続きのため、教員資格審査(AC教員審査)不要。)
- ・平成30年5月、加納准教授が教授へ昇任。(山口大学は「事前伺い」手続きのため、教員資格審査(AC教員審査)不要。)
- ・平成30年4月、西垣准教授が教授へ昇任。(山口大学は「事前伺い」手続きのため、教員資格審査(AC教員審査)不要。)
- ・平成29年10月、谷准教授が教授へ昇任。(山口大学は「事前伺い」手続きのため、教員資格審査(AC教員審査)不要。)
- ・平成29年10月、下田助教が准教授へ昇任。(山口大学は「事前伺い」手続きのため、教員資格審査(AC教員審査)不要。)
- ・平成30年4月、佐々木氏が教授就任。(山口大学は「事前伺い」手続きのため、教員資格審査(AC教員審査)不要。)
- ・平成30年5月、教育効果の充実のため、「専門科学英語スキル」を担当する非常勤講師(兼任教員)として、Alan Christ Robert氏就任。度会教授から担当教員を変更。
- ・平成30年10月、西川助教辞職。
- ・平成31年3月、原助教辞職。
- ・平成31年3月、根本助教辞職。

【令和元年度】

- ・平成31年3月、前田教授辞職。辞職後、平成31年4月、山口大学客員教授に就任し、引き続き専任教員として担当。(国立感染症研究所との連携大学院)

【令和2年度】

- ・令和元年8月、榎山助教辞職。
- ・令和元年10月、早坂氏が教授就任。(山口大学は「事前伺い」手続きのため、教員資格審査(AC教員審査)不要。)
- ・令和2年2月、渋谷助教が准教授へ昇任。(山口大学は「事前伺い」手続きのため、教員資格審査(AC教員審査)不要。)

<鹿児島大学大学院>

【平成30年度】

- ・平成30年2月、田中准教授が教授へ昇任。平成29年11月教員審査済
- ・平成30年1月、川崎教授死亡。
- ・平成30年7月、非常勤講師(兼任教員)のSmith Henry Ivan氏が特任准教授(兼任教員)に就任。
- ・平成30年10月、高橋助教が准教授へ昇任。平成30年7月教員審査済
- ・平成30年10月、藤本准教授就任。平成30年7月教員審査済
- ・平成30年10月、内藤准教授就任。平成30年7月教員審査済
- ・平成31年1月、須永助教辞職。
- ・平成31年2月、白石准教授が教授へ昇任。平成30年11月教員審査済
- ・平成31年3月、叶内准教授辞職。

【令和元年度】

- ・特になし。

【令和2年度】

- ・令和元年8月、桃井教授辞職
- ・令和元年9月、宇野准教授就任。令和2年1月教員審査済
- ・令和元年10月、矢吹准教授が教授へ昇任。令和元年7月教員審査済
- ・令和元年10月、三浦准教授が教授へ昇任。令和元年7月教員審査済
- ・令和元年10月、藤本准教授が教授へ昇任。令和元年7月教員審査済

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
山口大学 大学院	4 名	3 名	2 名
鹿児島大学 大学院	4 名	3 名	2 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

大学名	設置時の計画						現在（報告時）の状況					
	教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
山口大学 大学院	14	12	0	11	37	0	20	10	0	5	35	0
	(14)	(12)	(0)	(11)	(37)	(0)						
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/								
20	8	9	23				7	5				
	(20)	(8)	(9)				(20)	(8)	(9)			
鹿児島大学 大学院	14	17	0	7	38	0	17	15	0	5	37	0
	(14)	(16)	(0)	(7)	(37)	(0)						
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/								
36	2	0	34				3	0				
	(35)	(2)	(0)				(35)	(2)	(0)			
大学名	現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
	教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
山口大学 大学院	20	10	0	5	35	0	20	10	0	5	35	0
	[6]	[Δ2]	[0]	[Δ6]	[Δ2]	[0]	[6]	[Δ2]	[0]	[Δ6]	[Δ2]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
23	7	5	23				7	5				
	[3]	[Δ1]	[Δ4]				[3]	[Δ1]	[Δ4]			
鹿児島大学 大学院	17	15	0	5	37	0	18	14	0	5	37	0
	[3]	[Δ2]	[0]	[Δ2]	[Δ1]	[0]	[4]	[Δ3]	[0]	[Δ2]	[Δ1]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
34	3	0	34				3	0				
	[Δ2]	[1]	[0]				[Δ2]	[1]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

7. 改元に伴う元号は、適宜更新ください。

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
山口 大学 大学院	65 歳	0 名	0 名
鹿児島 大学 大学院	65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{72}{75} = \boxed{96} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
山口大学大学院			該当なし					
鹿児島大学大学院	1	教授	川崎 安亮	H30.01	選択	基礎獣医学特別講義 (間隔生理学特別講義)	③	平成30年1月死亡(30)
					選択	基礎獣医学特別演習 (間隔生理学特別演習)	③	
					選択	基礎獣医学特別実験 (間隔生理学特別実験)	③	

合計(D)				後任補充状況の集計(E)					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	3	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
 7. 改元に伴う元号は、適宜更新ください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
山口大学大学院	1	助教	西川 晋平	H30.10	選択	臨床獣医学特別演習 (低侵襲外科科学特別演習)	①	H30.10.31付けて、一身上の都合により辞任(元)
					選択	臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科科学特別実験)	①	
	2	助教	根本 有希	H31.3	選択	臨床獣医学特別演習 (小動物臨床免疫学特別演習)	①	H31.3.31付けて、一身上の都合により辞任(元)
					選択	臨床獣医学特別実験 (小動物臨床免疫学特別実験)	①	
	3	助教	原口 友也	H31.3	選択	臨床獣医学特別演習 (低侵襲外科科学特別演習)	①	H31.3.31付けて、一身上の都合により辞任(元)
					選択	臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科科学特別実験)	①	
	4	助教	檜山 雅人	R元.8	選択	臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科科学特別実験)	①	R元.8.31付けて、一身上の都合により辞任(2)
					選択	臨床獣医学特別実験 (低侵襲外科科学特別実験)	①	
鹿児島大学大学院	1	助教	須永 隆文	H31.1	選択	臨床獣医学特別演習 (外科診断治療学特別演習)	①	H31.1.31付けて、一身上の都合により辞任(元)
					選択	臨床獣医学特別実験 (外科診断治療学特別実験)	①	
	2	准教授	叶内 宏明	H31.3	選択	基礎獣医学特別講義 (生化学特別講義)	③	H31.3.31付けて、一身上の都合により辞任(元)
					選択	基礎獣医学特別演習 (生化学特別演習)	③	
					選択	基礎獣医学特別実験 (生化学特別実験)	③	
	3	教授	桃井 康行	R元.8	選択	臨床獣医学特別講義 (分子診断治療学特別講義)	③	R元.8.31付けて、一身上の都合により辞任(2)
					選択	臨床獣医学特別演習 (分子診断治療学特別演習)	③	
					選択	臨床獣医学特別実験 (分子診断治療学特別実験)	③	

合計(F)				後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
7 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	16	科目	選択	10	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	16	科目	計	10	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
8 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	19 科目	選択	10 科目	選択	0 科目	選択	9 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	19 科目	計	10 科目	計	0 科目	計	9 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{8}{75} = \boxed{10.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
山口大学大学院			該当なし				
鹿児島大学大学院			該当なし				

合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>山口大学大学院： 「大学の所見」 辞任した教員の担当科目については、他の専任教員が代わりに担当することで授業に支障はない。そのため、当該科目についての担当教員の後任を補充する予定はない。</p> <p>「学生への周知方法」 学生に対しては、時間割により周知した。</p> <p>鹿児島大学大学院： 「大学の所見」 辞任した教員の担当授業科目の今後の受講予定者はいないこと、当該教員を指導教員とする学生はいなかったことから、支障はない。そのため、後任を補充する予定はない。</p> <p>「学生への周知方法」 学生へは、履修の手引き及びホームページにより周知した。</p>
--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

<山口大学大学院>

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

<鹿児島大学大学院>

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<山口大学大学院>

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 学務委員会</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 毎月第1水曜日(原則)開催 平成31年4月10日(水)7名出席, 令和元年5月15日(水)7名出席, 令和元年6月5日(水)7名出席, 令和元年7月3日(水)6名出席, 令和元年8月7日(水)6名出席, 令和元年10月2日(水)6名出席, 令和元年11月6日(水)6名出席, 令和元年12月11日(水)7名出席, 令和2年1月8日(水)6名出席, 令和2年2月5日(水)7名出席, 令和2年3月4日(水)5名出席, 令和2年3月16日(月)5名出席</p> <p>c 委員会の審議事項等 (FDに関する審議事項) ・FD推進に関する実施計画 ・教育内容や方法の改善策</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・教育改善FD研修会 ・獣医学セミナー: 教員, 学生対象の本学教員による教育力向上のためのセミナー ・獣医学特別セミナー: 教員, 学生対象の学外講師によるセミナー ・総合臨床セミナー: 教員, 学生, 学外獣医師対象の外部講師及び臨床系教員によるセミナー ・鹿児島大学との合同FD研修会</p> <p>b 実施方法 学務委員会委員, FDコーディネータ, 各セミナー担当教員を中心に研修会やセミナー, アンケートを実施。</p>

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・教育改善FD研修会
令和元年10月23日（水）18名出席
 - ・獣医学セミナー：教員，学生対象の本校教員による教育力向上のためのセミナー
第75回／平成31年4月24日（水）14名出席，第76回／令和元年5月29日（水）13名出席
第77回／令和元年10月16日（水）8名出席
 - ・獣医学特別セミナー：教員，学生対象の学外講師によるセミナー
第46回／令和元年6月6日（木）10名出席，第47回／令和元年7月2日（火）10名出席，
第48回／令和元年8月7日（水）15名出席，第49回／令和2年2月13日（木）6名出席
 - ・総合臨床セミナー：教員，学生，学外獣医師対象の外部講師及び臨床系教員によるセミナー
第16回／令和元年12月15日（日）74名出席
 - ・鹿児島大学との合同FD研修会
令和元年9月17日（火）39名出席

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
各研修会及びセミナーの内容については，個々の授業実施や教育研究活動の改善に活かすこととしており，鹿児島大学との合同FD研修会に出てきた課題は，2大学間の会議において改善に向けた検討を行っている。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
現時点で履修された科目が少数のため未実施であり，今後、実施方法も含めて検討予定。

 - b 教員や学生への公開状況，方法等
未実施。今後，実施方法も含めて検討予定。

<鹿児島大学大学院>

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教務委員会 FD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教務委員会 原則毎月メール会議開催

平成31年4月3日(水)～4月9日(火)	7名参加	平成31年4月25日(月)～4月26日(火)	7名参加
令和元年6月4日(火)～6月7日(金)	7名参加	令和元年7月4日(木)～7月8日(月)	7名参加
令和元年10月1日(火)～10月4日(金)	7名参加	令和元年11月1日(金)～11月6日(水)	5名参加
令和元年11月28日(木)～12月4日(水)	6名参加	令和2年1月24日(金)～1月31日(金)	6名参加
令和2年3月2日(月)～3月6日(金)	5名参加	令和2年3月30日(月)～4月3日(金)	5名参加

FD委員会 検討事項がある際に適宜開催

令和元年5月10日(金) 4名出席

令和元年8月30日(金) 4名参加

c 委員会の審議事項等

(FDに関する審議事項)

- ・FD推進に関する実施計画
- ・教育内容や方法の改善策

② 実施状況

a 実施内容

- ・山口大学との合同FD研修会

b 実施方法

両大学の教員が、片方の大学に集まり研修会を実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・山口大学との合同FD研修会

令和元年9月17日(火) 36名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

山口大学との合同FD研修会で出てきた課題は、2大学間の会議において改善に向けた検討を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

現時点で履修された科目が少数のため未実施であり、今後、実施方法も含めて検討予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

未実施。今後、実施方法も含めて検討予定。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<山口大学大学院>

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
平成30年4月に開設し、3年目を迎え順調に学生定員も充足しているところであり、引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり進めていきたい。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
・令和2年10月公表予定
 - b 公表方法
・山口大学自己点検評価書を作成し、大学ホームページにて公表予定
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成27年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審、次回受審年度は令和4年度を予定している。
 - ・平成30年度に大学基準協会による獣医学教育評価を受審し、『基準に適合している』旨の認定を受けた。
 - ・令和元年6月にEAEVE（欧州獣医学教育機関協会）による獣医学教育評価を受審し、同年12月に日本及びアジア初の『accreditation status』（適合）の認定を受けた。

<鹿児島大学大学院>

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
平成30年4月に開設し、3年目を迎え順調に学生定員も充足しているところであり、引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり進めていきたい。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
・未定（令和2年度）
 - b 公表方法
・年度計画進捗管理システム及び研究者情報管理システムを活用し年度ごとのデータを収集した上で、3年ごとに自己評価報告書を作成する。
・大学ホームページ上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・令和3年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受審予定である。
 - ・平成30年度に大学基準協会による獣医学教育評価を受審し、『基準に適合している』旨の認定を受けた。
 - ・令和元年6月にEAEVE（欧州獣医学教育機関協会）による獣医学教育評価を受審し、同年12月に日本及びアジア初の『accreditation status』（適合）の認定を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<山口大学大学院>

- 設置計画履行状況報告書（令和2年度）
- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]
- ≪ aで「有」の場合 ≫
- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]
- ≪ aで公表「無」の場合 ≫
- d 公表しない理由 [-]

<鹿児島大学大学院>

- 設置計画履行状況報告書（令和2年度）
- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]
- ≪ aで「有」の場合 ≫
- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]
- ≪ aで公表「無」の場合 ≫
- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。